

イベント環境対策活動 EarthCare

ezorock

2001~

活動紹介

野外音楽イベントや地域のお祭りなどでごみの分別ナビゲートなどをはじめとする環境対策活動を実施。それに加えて、RSRではオリジナルごみ袋の配布をし、ecoアクションキャンペーンブースの運営を行い、生ごみの堆肥化や水切り、海の環境汚染の重要性について伝えた。

2016年総括

今年度のRSRでは新たな試みとして海の環境汚染についての投票をしてもらうことで来場者だけでなくボランティアの意識を変化させることができたのではないかと感じています。また、今年度から地域のまつりやRSRなど夏に活動をするのが多かったのですが、冬の期間でもEarthCareからアクションをファストファッションをテーマに起こそうとする動きが見られており、少しずつプロジェクト内でも変化が見られた年になってきているのではないかと思います。(たか)

目的・背景

目的：ごみを通して人々の価値観を変化させる

背景：近年、日本人のもったいない精神が薄れ大量消費社会となり、ごみが増加した。ごみを減量するためには、物をリユースすることであったり食べ物をおすそ分けするなど工夫が大切である。ごみを減らすために一人一人が考えていく「考えられる社会」というのが必要になる。それによって人付き合いが増えることや物のありがたみを感じるということにより、もったいない精神やおすそ分け文化といった人々の考え方が復活する。

実施内容

合計：8回 のべ 612名

- コアスタッフ 23人
- 活動イベント名
 - ・はまなすフェスティバル2016
 - ・RISING SUN ROCK FESTIVAL 2016 in EZO
 - ・幌北ふるさと夏まつり
 - ・秋だ！祭りだ！澄川パフォーマンス祭り2016
 - ・小樽ワインカーニバル
 - ・モエレ沼芸術花火2016
 - ・石狩さけまつり
 - ・HTBイチオシ！まつり

成果

新たな試みとして地域のまつりにて「海の環境汚染」をテーマに投票活動を行った。これをきっかけに来場者にとって非日常的な環境問題を日常的な問題として意識してもらい、普段から意識して生活をしてもらうような試みとして取り組んだ。来場者からは現在とのギャップから驚きの声が多数聞くことができ、印象に残るようにできた。

- ごみ回収量：6万3千t
- リサイクル率：77.6%
- オリジナルごみ袋配布枚数 4万4千枚
- ecoアクションキャンペーンブース：972人
- 投票：92人

声

ボランティア(20代男性)

ezorockのブースをすべて回ることにより、自然、人、ごみがどのような関係で繋がっているのか知識と体験を通して学べた。また、分別不足により自然にどのような影響が出ているのか、身近で具体的な情報を初めて知れたことはためになった。

ボランティア(20代男性)

ごみの分別に協力してくれる人、協力を渋る人、協力してくれない人、一緒に活動した仲間、スタッフ、いろんな人がいたけれど、ごみを通じて人と人が繋がる瞬間を共有できる貴重な体験だった。



ごみの分別ナビゲート



キャンペーンバッグの配布



キャンペーンブース
「海の環境汚染」



キャップとラベルを使った投票